

議会図書館音楽演奏手段シソーラス

Library of Congress Medium of Performance

Thesaurus for Music (LCMPT)

*prepared by* TORIUMI Keiji

**toccatamarc.com**

2022

株式会社トッカータ設立 20 周年記念出版, Part 4

議会図書館音楽演奏手段シソーラス

Library of Congress Medium of Performance Thesaurus for Music (LCMPT)

株式会社 トッカータ・新宿 (東京)・2022

©2022 Keiji Toriumi

# 目次

序文.....	1
歴史.....	1
典拠形用語.....	2
“Used for (UF)” 参照.....	2
広義語および狭義語の参照.....	2
関連語 (RT) 参照.....	3
スコープ・ノート.....	3
用語の適用方法.....	4
サブフィールドの使用法.....	5
特殊ケースに対する指針.....	9
LCSH および LCGFT との併用.....	16
LCMPT マニュアル・シート.....	17
用語集の構成.....	18
“項目レコード” の内容.....	18

## 序文

本書は LC (Library of Congress = 米国議会図書館) が RDA (Resource Description & Access = 資源の記述とアクセス) の下での使用を前提に開発し、2014 年から運用している “LCMPT (Library of Congress Medium of Performance Thesaurus for Music = 議会図書館音楽演奏手段シソーラス)” の説明 (この序文) と、オリジナルの LCMPT に日本語訳を追加した一覧表で構成されている。

LCMPT は音楽作品の演奏に使用される楽器や声楽などを記述するための独立した語彙集で、MARC21 書誌レコードおよび典拠レコードのフィールド 382 で使用されることを意図しており、AACR2 および RDA レコードの両方で割り当てることができる。LCMPT の用語は主に既存の LC 件名標目に基づいているが、LCSH にまだ現れていない用語も追加されている。

## 歴史

音楽の演奏手段は、児童合唱、電子オルガン アンサンブル、フルート、管弦楽、ソプラノ声、などのように、音楽作品の演奏に必要な声、楽器、およびその他の実体であると定義される。議会図書館件名標目 (LCSH) における音楽標目は、1 または複数の演奏手段のみで構成されるか (例: Piano music; Violin and cello music; Bassoon, clarinet, trumpet with orchestra), あるいはジャンルや形式を示す標目に含まれている (例: Concertos (Baritone with string orchestra), Sonatas (Clarinet), Suites (Bassoon, clarinet, flute, oboe, violins (2), viola, cello)。このタイプの標目には重要な演奏手段情報が含まれてはいるが、これらの構文や書式が利用者にとって直観的であるとは限らない。音楽作品を個々の演奏手段で探索するためには、形式やジャンルから演奏手段を独立させる必要がある。

LCMPT の範囲と構造に関する予備的な議論は 2009 年に始まった。2010 年には LC と音楽図書館協会 (MLA) が語彙集を共同開発することで合意し、LC 内には異なる部署に属する音楽司書で構成される作業部会が設置された。

初回の演奏手段 800 用語は 2014 年 2 月に使用が承認された。新規の用語と既存の用語の改訂は、通常の目録作業の一環として起案され所定の手続きの後に承認される。

議会図書館音楽演奏手段シソーラス (LCMPT) 2021 年版には 2021 年 3 月までに確立された 899 の用語が含まれている。

"Library of Congress Medium of Performance Thesaurus for Music" の最新版 (PDF ファイル) は下記の URL で閲覧できる。

<https://www.loc.gov/aba/publications/FreeLCMPT/MEDIUM.pdf>

LCMPT の過去の版は次の通り。

2020 Edition (April 2020)

2019 Edition (April 2019)

2018 Edition (January 2018)

2017 Edition (January 2017)

2016 Edition (January 2016)

(<https://www.loc.gov/aba/publications/FreeLCMPT/archivedlcmpt.html>)

## 典拠形用語

LCMPT では単一演奏手段は文法的に単数形である。用語は fiddle, kaval, zither のような単語か, baby rattle, new century harp, reed organ, tenor voice のような句で, これらの例のように, 用語の多くは特定の楽器を示しているが, band, gamelan, mixed chorus のようなアンサンブルも含まれている。なお, 用語には同音異義語を区別するために丸かっこ入りの限定語が付記されることがある (例: angklung (rattle); angklung (xylophone))。

全ての用語は英語で確立されているが, 例外もある。外国語から英語への借入語 (外来語), または英語の参考情報源になく, 目録対象資源に記されている言語でのみ現れる外国語の用語などである。例えば bajo sexto は 12 弦の大型のメキシコのギターで, 英語の参考情報源でもスペイン語で引用されている。演奏手段の地理的起源を示す要素は, 典拠形用語から除外されているが, 演奏手段の名称の根源的な要素になっている場合には含まれることがある (例: Appalachian dulcimer)。稀なケースでは, 同音異義語を区別するための丸かっこ入りの限定語として地理的起源を付記することもある (例: setār (Iranian instrument))。

## “Used for (UF)”参照

時に“see (を見よ)”参照と呼ばれる Used For (UF)参照は, 同義語との関係性を表示する。これらは利用者を非優先語から典拠形用語へと導く。典拠形用語のもとで UF を冠して表示され, 利用者の検索用に USE 参照が生成される。

UF 参照は同義語から参照する場合もあれば, 正規の用語の異形を提示する場合もある。後者は重要語を先頭に置くための倒置形参照として頻りに現れる。UF 参照は, 旧典拠形用語からの参照にも用いられる。UF 参照は, ある概念について別の用語を確立することが実際的ではないと判断された場合など, しばしば厳密には類似語と言えない用語にも用いられる。この場合, UF は典拠形用語よりもやや狭い意味に対して作られ, “upward (上向き)” UF と呼ばれる。UF 参照は丸かっこ付きの限定語を含むことがある。

## 広義語および狭義語の参照

広義語と狭義語は階層的関係を示している。各 NT は BT として表示されているもののクラス・メンバーである。BT/NT は相互関係であるが, MARC 21 典拠レコード, Toccata MARC/A とともに BT のみが実際に入力されている。NT はコンピューターのソフトウェアによって生成される。

階層関係は基本的にザックス-ホルンボステルの楽器分類に従っている。各用語は階層的に 1 段階上位に

リンクしている。それぞれの用語は最低 1 つの BT を持つが、最上位の用語, ensemble, performer, および visual は除く。

(例)

aerophone = 気鳴楽器

BT instrument = 楽器

chamber organ = 室内オルガン

BT organ = オルガン

instrument = 楽器

BT performer = パフォーマー

用語は複数の広義語を持つことがある。

organ = オルガン

BT aerophone = 気鳴楽器

keyboard instrument = 鍵盤楽器

厳格な階層構造は、階層の上下関係を利用した学術的な探索を可能にする。

## 関連語 (RT) 参照

関連語 (RT) は連想関係を示す。互いに広義でも狭義でもない 2 つの用語を結びつける。このようにリンクされた用語は、階層的な関連はないものの、知的には関連付けられるため、そのリンクを明示することで関心を引く可能性のある別の用語を明らかにする。主観的な判断を避けるために、他方の用語を検討するときは必ずどちらかの用語を強く示唆する必要がある。

## スコープ・ノート

スコープ・ノートは、カタログが用語の割り当て方法の一貫性を維持し、ユーザーがその用語が目的の資料をカバーしているかどうかを判断するのに役立つ単一段落文の定義である。またスコープ・ノートは、一般的にほとんどのユーザーに用語が馴染みのない場合、または参考資料での用語の意味が一致しないために、LCMPT の文脈上で用語を定義する必要がある場合にも用いられる。

(例)

jin qian ban = ジン チエン バン

SN: 物語の語りに用いる中国のクラッパー

gamelan = ガムラン

SN: ジャワ島, バリ島, およびその周辺地域のアンサンブルで, ゴング (銅鑼), メタロフォン (金属製鍵盤打楽器), ドラム (太鼓) などで構成される.

対比的スコープ・ノートは, 2つ以上の正規の用語が密接に関連しているか, 意味が重複している場合, または混乱する可能性がある場合に提供される.

(例)

gusle = グスラ

SN: 南東ヨーロッパの1弦の弓奏リュート. ロシアのプサルタリーは "gusli" を見よ.

gusli = グスリ

SN: ロシアのプサルタリー. 南東ヨーロッパの1弦の弓奏リュートは "gusle" を見よ.

## 用語の適用方法

音楽作品に該当する演奏手段が複合的な場合は, それぞれに対して用語を付与する. 用語に細目はない. MARC 21 フォーマットでは, 用語はフィールド 382 に入力する. 単一作品に複数の用語が該当する場合は, サブフィールドを繰り返して付与する. 演奏手段の用語に優先順位はない. 単一のレコードに複数の作品を記述する場合は, 各作品単位に 382 フィールドを用意する. 次のサブフィールドがある. 演奏者等の数を示すサブフィールドは, 関係する演奏手段の直後に入力する.

\$a 演奏手段	\$r アンサンブルと一緒に演奏する個人の総数
\$b ソロイスト	\$s 演奏者の総数
\$d 持ち替え楽器	\$t アンサンブルの総数
\$e 同じタイプのアンスンブルの数	\$v 注記
\$n 同じ演奏手段の演奏者/楽器数	\$2 システム・コード
\$p 代替演奏手段	\$3 適用対象の注記

Toccata MARC の場合

Toccata MARC/B: 292

Toccata MARC/A: C22

\$a 演奏手段	\$s 演奏者の総数
\$b ソロイスト	\$t アンサンブルの総数
\$d 持ち替え楽器	\$0 注記
\$e 同じタイプのアンスンブルの数	\$2 システム・コード

\$n 同じ演奏手段の演奏者/楽器数	\$3 典拠レコード識別子
\$p 代替演奏手段	\$9 適用対象の注記
\$r アンサンブルと一緒に演奏する個人の総数	

## サブフィールドの使用方法

LCMPT の用語は \$a (演奏手段), \$b (ソロイスト), \$d (持ち替え楽器), \$p (代替演奏手段) に入力する。

### \$a 演奏手段

アンサンブルの伴奏を伴う独奏楽器または独唱 (\$b), 持ち替え楽器 (\$d), 代替演奏手段 (\$p) 以外の演奏手段は \$a に入力する。

Beethoven, Ludwig van, 1770-1827. Trios, piano, violin, cello, op. 1

[C22] 0 \$apiano = ピアノ\$n1\$aviolin = ヴァイオリン\$n1\$acello = チェロ\$n1\$s3\$2lcmpt/tmmpt

Schubert, Franz, 1797-1828. Abend, D. 108

[C22] 0 \$asinger = 歌手\$n1\$apiano = ピアノ\$n1\$s2\$2lcmpt/tmmpt

Mozart, Wolfgang Amadeus, 1756-1791. Masses, K. 427, C minor

[C22] 0 \$asolo vocal ensemble = 独唱アンサンブル\$e1\$amixed chorus = 混声合唱\$e1\$aorgan = オルガン\$n1\$aorchestra = 管弦楽\$e1\$2lcmpt/tmmpt

Willaert, Adrian, 1490?-1562. Infelix ego

[C22] 0 \$avocal ensemble = 声楽アンサンブル\$06 parts = 6 声部\$e1\$t1\$2lcmpt/tmmpt

### \$b ソロイスト

MARC フォーマットで \$b は “アンサンブルを伴う独奏楽器または独唱” と定義されている。従って、伴奏が単一の楽器 (例: ピアノ伴奏歌曲, オークストラ伴奏をピアノ用に縮小編曲した協奏曲) の場合は、独奏楽器または独唱に \$b サブフィールドを使用しない。伴奏がアンサンブル用語となる場合にのみ \$b を用いる。室内楽作品では、演奏手段が個々の楽器/声を指定している場合には、ソロイストの役割が目録対象資源や参考情報源で明確に示されている場合にのみ、\$b で楽器/声を指定する。

Beethoven, Ludwig van, 1770-1827. Concertos, piano, orchestra, no. 5, op. 73, E ♭ major

[C22] 0 \$bpiano = ピアノ\$n1\$aorchestra = 管弦楽\$e1\$2lcmpt/tmmpt

Berg, Alban, 1885-1935. Kammerkonzert

[演奏手段 (出典: Wikipedia) scored for piano and violin soloists, accompanied by a wind ensemble of 13 players: piccolo, flute, oboe, English horn, E ♭ clarinet, A clarinet, bass clarinet, bassoon, contrabassoon, trumpet, two French horns, and trombone]



[C22] 0 \$bviolin = ヴァイオリン  
\$n1\$b piano = ピアノ  
\$n1\$a piccolo = ピッコロ  
\$n1\$a flute = フルート  
\$n1\$a oboe = オーボエ  
\$n1\$a English horn = イングリッシュホルン  
\$n1\$a soprano clarinet = ソプラニーノクラリネット  
\$n1\$a clarinet = クラリネット  
\$n1\$a bass clarinet = バスクラリネット  
\$n1\$a bassoon = バスーン  
\$n1\$a contrabassoon = コントラバスーン  
\$n1\$a trumpet = トランペット  
\$n1\$a horn = ホルン  
\$n2\$a trombone = トロンボーン  
\$n1\$s15\$2lcmpt/tmmpt

ただし

Verdi, Giuseppe, 1813-1901. Traviata. Dite alla giovine. Vocal score

[演奏手段: soprano, baritone, piano]

[C22] 0 \$a soprano voice = ソプラノ声  
\$n1\$a baritone voice = バリトン声  
\$n1\$a piano = ピアノ  
\$n1\$s3\$2lcmpt/tmmpt

### \$p 代替演奏手段

代替演奏手段は、典拠形演奏手段の \$a, \$b, \$d (または \$a/\$n, \$b/\$n, \$d/\$n の組み合わせ) の直後の \$p に入力する。

Brahms, Johannes, 1833-1897. Sonatas, clarinet, piano, op. 120

[演奏手段 (出典: New Grove) op. 120. Two sonatas, f, E♭, cl/va, pf]

[C22] 0 \$a clarinet = クラリネット  
\$n1\$p viola = ヴィオラ  
\$n1\$a piano = ピアノ  
\$n1\$s2\$2lcmpt/tmmpt

複数の代替演奏手段がある場合は、それぞれの代替演奏手段を連続してサブフィールド \$p に記録する。

Telemann, Georg Philipp, 1681-1767. Kleine Cammer-Music

[演奏手段 (出典: Die kleine Kammermusik, 1971) for violin (flute, oboe, recorder) and basso continuo]

[C22] 0 \$a violin = ヴァイオリン  
\$n1\$p flute = フルート  
\$n1\$p oboe = オーボエ  
\$n1\$p recorder = リコーダー  
\$n1\$a continuo = 通奏低音  
\$2lcmpt/tmmpt

代替演奏手段を同一フィールドに記録することが実務上不可能な場合 (例えば、代替演奏手段により演奏者の総数が異なる場合や、特定の手段が「任意」に指定されている場合)、それぞれの代替演奏手段を別々のフィールドに記録する。この場合には \$p を使用しない。

Sibelius, Jean, 1865-1957. Andante festive

[注記: 弦楽四重奏および弦楽オーケストラ両方のヴァージョンに用いる]

[C22] 0 \$a violin = ヴァイオリン  
\$n2\$a viola = ヴィオラ  
\$n1\$a cello = チェロ  
\$n1\$s4\$2lcmpt/tmmpt

[C22] 0 \$a string orchestra = 弦楽オーケストラ  
\$e1\$2lcmpt/tmmpt

ある楽器の奏者の 1 人またはそれ以上に代替演奏手段があり、その他の奏者にはない場合、代替演奏手段の有無によって別々に示し、それぞれの項の後に \$n を入力する。

Howarth, Elgar. Processional fanfares

[出典: WoldCat #255521740: Two processional fanfares : 3 trumpet in B♭, trumpet in B♭ or horn in F, trombone or horn in F, 2 trombone, trombone or tuba / Elgar Howarth, c1975]

[C22] 0 \$atrumpet = トランペット \$n3\$atrumpet = トランペット \$n1\$phorn = ホルン \$n1\$atrombone = トロンボーン \$n1\$phorn = ホルン \$n1\$atrombone = トロンボーン \$n2\$atrombone = トロンボーン \$n1\$ptuba = テューバ \$n1\$s8\$2lcmpt/tmmp

#### \$d 持ち替え楽器

適切な \$a, \$b, \$p (または \$a/\$n, \$b/\$n, \$p/\$n の組み合わせ) に続けて \$d に持ち替え楽器を記録する。

ある楽器に複数の持ち替え楽器がある場合は、それぞれを連続したサブフィールド \$d (または \$d/\$n) に記録する。

ある楽器の奏者が別の楽器と持ち替え演奏し、他の奏者が持ち替え演奏しない場合、持ち替え演奏する楽器としない楽器を別々に示し、それぞれの項の後に \$n を入力する。

Rimsky-Korsakov, Nikolay, 1844-1908. Skazka o tšare Saltane. Nu, teper', moi shmel'; arranged (Yamamoto)

[演奏手段 (出典: Scheherazade / Nagoya Double-Reed Ensemble, 2021) 3Ob, 3Eh, 2Bn(CBn), CBn]

[C22] 0 \$aoboe = オーボエ \$n3\$aEnglish horn = イングリッシュホルン \$n3\$abassoon = バスーン \$n1\$abassoon = バスーン \$n1\$dcontrabassoon = コントラバスーン \$n1\$acontrabassoon = コントラバスーン \$n1\$s9\$2lcmpt/tmmp

持ち替え楽器に代替演奏手段がある場合は、\$d (または \$d/\$n) の後に \$p を入力する。

#### 数量: \$n \$e \$r \$s \$t

演奏者数が判明している場合は、用語に続けて \$n に数を記録する。数が不明または可変の場合は \$n に値を記録しない。

Bach, Johann Sebastian, 1685-1750. Gib dich zufrieden und sei stille, BWV 511

[C22] 0 \$asinger = 歌手 \$n1\$acontinuo = 通奏低音 \$2lcmpt/tmmp

声種は判明しても各パートの声部数が特定できない賛歌、セクレット・ハーブ、または類似の作品では \$n と \$s を省く。オプションとして、アンサンブルのフィールドを追加する。

## \$v/\$0 注記

さらに詳細な情報が必要な場合は \$v [Toccatà MARC: \$0] に自由記述でメモを記録する。最も関連するサブフィールドの直後に \$v[\$0] を配置する。

- (1) 関連する \$a, \$b, \$d, \$p の後 (メモが特定の演奏手段の性質を記述している場合)
- (2) \$n または \$e の後 (メモが特定の演奏手段の番号付けを説明している場合)
- (3) \$2 の直前 (メモが演奏手段全体に関係する場合)

疑わしい場合は (3) の方法を用いる。

Compère, Loyset, approximately 1445-1518. Quis numerare queat/Da pacem

[演奏手段 (出典: Grove Music Online) Motets. Quis numerare queat/Da pacem, 5 vv]

[C22] 0 \$avocal ensemble = 声楽アンサンブル\$05 parts = 5声部\$e1\$t1\$2lcmpt/tmmpt

合唱の声部を示す場合は、次の標準的な略語を使用する

**S** - Soprano

**Mez** - Mezzo-soprano

**A** - Alto

**T** - Tenor

**Bar** - Baritone

**B** - Bass

Purcell, Henry, 1659-1695. Why, why are all the muses mute?

[演奏手段 (出典: New Grove) 2 S, A, T, B, with 5vv, 2 vn, va, bc]

[C22] 0 \$bsoprano voice = ソプラノ声\$n2\$balto voice = アルト声\$n1\$btenor voice = テノール声

\$n1\$bbass voice = バス声\$n2\$amixed chorus = 混声合唱\$0SSATB\$e1\$astring orchestra = 弦楽オー

ケストラ\$e1\$r6\$t2\$2lcmpt/tmmpt

## \$2 語彙情報源コード

各フィールドの末尾に "\$2lcmpt" (オリジナルの用語のみ), または "\$2lcmpt/tmmpt" (オリジナルと日本語) を記録する。ただし、用語が LCMPT 以外の場合、および典拠レコード識別子のみのフィールドでは記録しない。

## \$3/\$9 適用対象の注記

オプションとして、適用対象を示すことが望ましく、実現可能な場合には、作品、表現、または構成要素を特定するための読みやすいメモを \$3 [Toccatà MARC: \$9] に記録する。一般的には、作品番号、作品中の番号、タイトル、作曲者/演奏者などの具体的な特定が、体現形内の順序 (第 1 曲, 第 2 曲な

ど) よりも望ましい。

Albinoni, Tomaso, 1671-1750. Concertos, op. 9

[violin (1), oboe (1), oboe (2) を独奏楽器とする協奏曲集]

[C22] 0 \$9Nos. 1, 4, 7, 10\$ violin = ヴァイオリン \$n1\$ astring orchestra = 弦楽オーケストラ  
\$e1\$ 2lcmt/tmmp

[C22] 0 \$9Nos. 2, 5, 8, 11\$ boe = オーボエ \$n1\$ astring orchestra = 弦楽オーケストラ  
\$e1\$ 2lcmt/tmmp

[C22] 0 \$9Nos. 3, 6, 9, 12\$ boe = オーボエ \$n2\$ astring orchestra = 弦楽オーケストラ  
\$e1\$ 2lcmt/tmmp

### §3 典拠レコード識別子 (Toccatà MARCのみ)

LCMPT を収めた典拠レコードのレコード識別子。

Coste, Napoléon, 1805-1883. Montagnard

[演奏手段 (出典: IMSLP Online) Le montagnard : divertissement pastoral : pour hautbois ou violon et piano ou guitar]

[C22] 0 \$a boe = オーボエ \$n1\$ p violin = ヴァイオリン \$n1\$ a guitar = ギター \$n1\$ p piano = ピアノ  
\$n1\$ s2\$ 2lcmt/tmmp

[C22] 1 \$3a01400800

[C22] 1 \$3a01400712

[C22] 1 \$3a01400896

[C22] 1 \$3a01400651

### 声/楽器の順序

フィールド 382 (MARC21), 292 (Toccatà MARC/B), C22 (Toccatà MARC/A) での声/楽器の順序に決まりはないが、アンサンブルの伴奏の前にソロイストを記録することが推奨されている。用語を手入力する場合は、読みやすさを考慮し、目録対象資源に表示されている順か、または可能であればスコアの順序を選択する。一般的にはカタログラーの判断による。

## 特殊ケースに対する指針

### アンサンブル

LCMPT の "[instrument] ensemble" というタイプのアンサンブル用語の多くは、「2 またはそれ以上の "楽器" からなるアンサンブル」という単純な定義を与えられている。LCSH では独奏楽器からなるアンサンブルと 1 つのパートを複数人で演奏するアンサンブルを区別しているが、LCMPT ではその区別をほとんど引き継いでいない。これらの用語はアンサンブルの正確な構成が不明な場合や、中・大規模なアンサンブルの各メンバーを記録することが不可能であると結論付けたカタログラーにとって有用なように設計されている。

一般的には、室内アンサンブルの個々の楽器および/または声を記録することを優先させる。不明または実現不能な場合は、より範囲の広い用語で記録する。

Copland, Aaron, 1900-1990. Appalachian spring. Suite

[演奏手段 (出典: OCLC Number: 889441559) Appalachian spring suite : (Ballet for Martha) : suite for 13 instruments / Aaron Copland, ©1972**Notes: For flute, clarinet in B ♭, bassoon, piano, 4 violins, 2 violas, 2 violoncellos, double bass. "The present version is scored for the original chamber ensemble of thirteen instruments. It is a condensed version of the ballet ... which retains all essential features but omits those sections in which the interest is primarily choreographic."**]

詳細記録 (優先):

[C22] 0 \$aflute = フルート\$n1\$aclarinet = クラリネット\$n1\$abassoon = バスーン\$n1\$apiano = ピアノ\$n1\$aviolin = ヴァイオリン\$n4\$aviola = ヴィオラ\$n2\$acello = チェロ\$n2\$adouble bass = ダブルベース\$n1\$s13\$2lcmpt/tmmpt

範囲の広い用語:

[C22] 0 \$ainstrumental ensemble = 器楽アンサンブル\$e1\$2lcmpt/tmmpt

場合によっては、個々の楽器や声と、より範囲の広いアンサンブルの用語の両方を記録することが望ましいこともある。また、例えば利用者の多くがアンサンブルの種類を検索すると想定され、必ずしも特定の楽器編成や演奏者の数を検索しないと考えられる場合もあり、このようなケースではカタログが判断しなければならない。

Fujikura, Dai, 1977- Concertos, cello, instrumental ensemble

[C22] 0 \$bcello = チェロ\$n1\$ainstrumental ensemble = 器楽アンサンブル\$e1\$2lcmpt/tmmpt

[C22] 0 \$bcello = チェロ\$n1\$aflute = フルート\$n1\$dpiccolo = ピッコロ\$n1\$aclarinet = クラリネット \$0in B ♭ = B ♭管\$n1\$abassoon = バスーン\$n1\$ahorn = ホルン\$n1\$atrumpet = トランペット \$n1\$apercussion = 打奏楽器\$n1\$apiano = ピアノ\$n1\$aviolin = ヴァイオリン\$n2\$aviola = ヴィオラ \$n1\$adouble bass = ダブルベース\$n1\$s13\$2lcmpt/tmmpt

**"string orchestra = 弦楽オーケストラ" および "bowed string ensemble = 弓奏弦楽アンサンブル"**

一部重複するこれらの用語は以下のように区別する。

(1) LCMPT における "string orchestra = 弦楽オーケストラ" は「弦楽器のみ、または弦楽器を主体として構成されるオーケストラ」のことである。ピアノ、打楽器、ハープなど、弓を持たない楽器を含む場合もある。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ダブルベースを中心とした中・大規模のアンサン

ブルは、特に西洋芸術音楽に関連する場合、一般にこのカテゴリーに入る。なお、各パートの演奏者が1人であるか、2人以上であるかは、この判断には関係ない。

Giazotto, Remo. Adagio, string orchestra, G minor

[C22] 0 \$astring orchestra = 弦楽オーケストラ\$e1\$2lcmpt/tmmpt

(2) LCMPT における "bowed string ensemble = 弓奏弦楽アンサンブル" は、「弓奏弦楽器による混合または不特定のアンサンブル」で、弓奏弦楽器のみで構成される。弦楽オーケストラに似ているが、顕著な違いがあるアンサンブル（例えば、標準的な弦楽オーケストラの構成楽器のすべてではなく、1種類以上の弓奏弦楽器で構成され、オーケストラでもなく、個々の楽器で表現できない小さなアンサンブル）は、この用語で表現する方が良い場合がある。

Teihō, 1973- Concertos, euphonium, string ensemble

[C22] 0 \$beuphonium = ユーフォニアム\$n1\$abowed string ensemble = 弓奏弦楽アンサンブル  
\$e1\$2lcmpt/tmmpt

## "band = 吹奏楽" および "wind ensemble = 管楽アンサンブル"

疑わしい場合は、下記のように2つの用語を使い分ける。

- (1) LCMPT における「バンド」とは「主に管楽器、金管楽器、打楽器からなる大編成のアンサンブル」をいう。管楽器以外を含む場合もある。
- (2) LCMPT における「管楽器アンサンブル」とは「2種類以上の混合管楽器からなるアンサンブル」である。管楽器のみで構成される。

“ウィンド バンド” または “ウィンド アンサンブル” のために出版された多くの作品は、実際には “吹奏楽” の定義を満たすアンサンブル用である可能性がある。

## 「手」の数

現在のところ、複数の演奏者を表す LCMPT 用語、または従来型楽器における標準的でない「手の数」（例：ピアノ4手、オルガン1手）を表す用語は存在しない。必要な演奏者数を \$n に、詳細を \$v [Toccatà MARC: \$0] に記録する。

Mozart, Wolfgang Amadeus, 1756-1791. Sonatas, piano, 4 hands, K. 521, C major

[C22] 0 \$apiano = ピアノ\$n2\$0piano, 4 hands = ピアノ, 4手\$s2\$2lcmpt/tmmpt

Smetana, Bedřich, 1824-1884. Rondo pro mládež

[C22] 0 \$apiano = ピアノ\$4\$08 hands = 8手\$4\$2lcmpt/tmmpt

Ravel, Maurice, 1875-1937. Concertos, piano, 1 hand, orchestra, D major

[C22] 0 \$bpiano = ピアノ\$1\$0left hand = 左手\$aorchestra = 管弦楽\$e1\$t1\$2lcmpt/tmmpt

## 通奏低音

\$a に "continuo = 通奏低音" を記録する。"continuo = 通奏低音" の後に \$n または \$e を含め  
てはならず, \$s または \$t に通奏低音の演奏者数を加えてはならない。通奏低音の演奏に使用する実  
際の楽器を記述することが望ましい場合は, そのデータを別のフィールド 382 [Toccatà MARC/A:  
C22; Toccatà MARC/B: 292] に記録する。"通奏低音" グループがより大きなアンサンブル (バロッ  
ク オーケストラや弦楽オーケストラなど) の一部を構成している場合, その存在が異例であるか, ま  
たは注視すべき場合を除き, 通常, 通奏低音を個別に記録することはない。

Quantz, Johann Joachim, 1697-1773. Concertos, flute, violin, continuo, QV 2:Anh.29, G major

[C22] 0 \$aflute = フルート\$1\$aviolin = ヴァイオリン\$1\$pflute = フルート\$1\$pofoe = オーボエ  
\$n1\$acontinuo = 通奏低音\$2lcmpt/tmmpt

Corbett, William, 1675-1748. Bizzarie universali

[演奏手段 (出典: Grove music online) op. 8; Le bizzarie universali, 2 vn, va, bc (hpd) (London, 1728);  
as 35 concertos or 3 compleat setts of universal bizzaries, 4 vn, va, vc, hpd (London, c1728)]

[C22] 0 \$aviolin = ヴァイオリン\$2\$aviola = ヴィオラ\$1\$acontinuo = 通奏低音\$2lcmpt/tmmpt

[C22] 0 \$aviolin = ヴァイオリン\$2\$aviola = ヴィオラ\$1\$aharpsichord = ハープシコード  
\$n1\$s4\$2lcmpt/tmmpt

## 不特定の演奏手段

演奏手段が特定できない場合, カタログーは 1 または複数の演奏手段を推定することができる。

Cage, John. Variations, no. 3

[演奏手段 (出典: John Cage WWW site) Variations III; For any one or any number of people  
performing any actions]

[C22] 0 \$ainstrument = 楽器\$voice = 声\$2lcmpt/tmmpt

## Electronics = 電子音

より具体的な用語が適用される場合を除き, または具体的な用語が疑わしい場合は, 一般的な用語  
"Electronics = 電子音" を記録する。

原則として、電子機材を操作・実現するために必要な人数やアンサンブルが明確でない限り、"Electronics = 電子音" またはその下位語 (NT) である "live electronics = ライヴ エレクトロニクス", "processed sound = 加工音", "pre-recorded audio = 事前録音オーディオ" の後に \$n または \$e を付与しない。作曲者が指示する場合を除き、これらの用語を "\$d 持ち替え楽器" として記録してはならない。

## 歌劇および劇的作品

歌劇やその他の劇的作品では、演奏手段を完全に記録することが実務上不適切な場合や、把握することが困難な場合が多く、この場合は 382 [Toccatà MARC/A: C22; Toccatà MARC/B 299] を全て省略することができる。もし、全ての独唱パートが明示されている場合は、382 [C22/292] に演奏手段を記録するかどうかを判断する。その他の場合、特定の声楽パートおよび/または楽器編成が特殊か、あるいは注目すべきものであれば、部分的な演奏手段を記録する。

Okada, Masaaki, 1950- Bara no nageki

[演奏手段 (出典: 薔薇の嘆き : (室内オペラ〜ソプラノ, メゾソプラノとピアノのための) / 岡田正昭, 2014)  
[C22] 0 \$bsoprano voice = ソプラノ声\$n1\$namezzo-soprano voice = メゾソプラノ声\$n1\$apiano =  
ピアノ\$n1\$s3\$2lcmpt/tmmpt

Handel, George Frideric, 1685-1759. Messiah

[C22] 0 \$bsoprano voice = ソプラノ声\$n1\$balto voice = アルト声\$n2\$btenor voice = テノール声  
\$n1\$bbass voice = バス声\$n1\$amixed chorus = 混声合唱\$OSSATB\$e1\$aorchestra = 管弦楽  
\$e1\$2lcmpt/tmmpt

Mozart, Wolfgang Amadeus, 1756-1791. Nozze di Figaro. Se vuol ballare, signor contino

[C22] 0 \$bbaritone voice = バリトン声\$n1\$aorchestra = 管弦楽\$e1\$2lcmpt/tmmpt

Wagner, Richard, 1813-1883. Ring des Nibelungen. Götterdämmerung

[C22 はカタログ判断で省略]

## 打楽器

演奏手段の一部として "percussion" を記録する場合は、以下の指針に従う。

1. 演奏者が特定の打楽器を演奏している場合は、その楽器を記録する。
2. それ以外の場合、特定の楽器を示すか、一般的な用語 "percussion" を使用するかは、原則として資源の表示に従う。1人の演奏者が演奏する特定の楽器を示す場合、任意として "percussion\$n1" のフィールド 382 [Toccatà MARC/A: C22; Toccatà MARC/B: 292] を追加することができる。



3. 一般的な用語 "percussion" を使用し、演奏者数が明記されているか、容易に把握できる場合は、"percussion" の後に \$n を付記する。
4. 2人以上の演奏者が特定の打楽器を演奏することを指定している場合、"percussion" の後に演奏者の数を示す \$n を付記した別の 382 [Toccatà MARC: C22/292] フィールドを追加する。
5. 演奏者の数が把握できない場合:
  - a. 個々の楽器/声として表示されている場合を除き、打楽器が大きなアンサンブルの一部を構成している場合は、"percussion" (\$n は付記しない) と記録する。
  - b. 打楽器のみで構成するアンサンブル、または打楽器を演奏する人数不詳の独奏者に "percussion ensemble" と記録する。

Mayuzumi, Toshirō, 1929-1997. Concerto, percussion, band

[演奏手段 (出典: Wikipedia) 打楽器とウィンド・オーケストラのための協奏曲; 2人のティンパニ奏者と4人のその他の打楽器奏者を独奏とする協奏曲]

[C22] 0 \$btimpani = ティンパニ\$n2\$bpercussion = 打奏楽器\$n4\$aband = 吹奏楽\$e1\$2lcmt/tmmp

Defaye, Jean-Michel, 1932- Performance

[演奏手段 (出典: Stéphane Labeyrie joue Jean-Michel Defaye, ©2021) Performance : pour tuba, quatuor de percussions (vibraphone/marimba, marimba, timpani, jeu de 5 toms), guitare basse]

[C22] 0 \$atuba = テューバ\$n1\$avibraphone = ヴァイブラフォーン\$n1\$dmarimba = マリンバ  
\$n1\$amarimba = マリンバ\$n1\$atimpani = ティンパニ\$n1\$atom-tom = トム-トム\$05 tom-toms  
\$n1\$abass guitar = ベース ギター\$n1\$s6\$2lcmt/tmmp

[C22] 0 \$atuba = テューバ\$n1\$apercussion = 打奏楽器\$n4\$abass guitar = ベース ギター  
\$n1\$s6\$2lcmt/tmmp

Harrison, Lou, 1917-2003. Concertos, violin, percussion ensemble

[C22] 0 \$bviolin = ヴァイオリン\$n1\$apercussion ensemble = 打楽器アンサンブル\$e1\$2lcmt/tmmp

[注: 打楽器奏者の数は把握できない]

## “singer = 歌手” vs “voice = 声”

演奏者の声域、性別、年齢が不特定または未確定の場合、声を使って楽音を出す演奏者に "singer" を用いる。歌も語りも指定されていないソロ ヴォーカリストのパートに "voice" を用いる。シュプレヒシュティンメ (Sprechstimme)、スクエア ダンスのコール、ラップ、およびその他の誇張されたスピーチまたはその他の声音にも "voice" を用いる。"singer" が適切かどうか迷う場合は、"voice" を用いる。

## LCMPT 以外の演奏手段

LCMPT に優先用語や参照が存在しない用語は、\$v/\$0 で明確化した上で、より広義な用語を使用す

ることができる。

### 演奏手段が異なる楽章

もし体现形が、大きな作品の中の1つまたは複数の楽章が別個に演奏できることを明示し、その楽章が異なる演奏形態であれば、作品全体に対する演奏手段に加え、分離演奏できる楽章に対する演奏手段を任意で記録する。

(例) ヴァイオリンとチェロのための作品。この作品の第1楽章は“*For cello solo*”のタイトルで別に演奏されることがある。

[C22] 0 \$aviolin = ヴァイオリン \$n1 \$acello = チェロ \$n1 \$s2 \$2lcmpt/tmmpt

[C22] 0 \$9First movement = 第1楽章 \$acello = チェロ \$n1 \$s1 \$2lcmpt/tmmpt

個々の楽章が作品全体の演奏形態と異なる作品が、全体として演奏される場合は、原則として個々の楽章に対する演奏手段を記録しない。1つの楽章のみが演奏された場合は、その楽章の演奏手段を記録する。

[作品全体]

Bach, Johann Sebastian, 1685-1750. Sonatas, violin, harpsichord, BWV 1019, G major

[C22] 0 \$aviolin = ヴァイオリン \$n1 \$aharpsichord = ハープシコード \$n1 \$s2 \$2lcmpt/tmmpt

[第3楽章]

Bach, Johann Sebastian, 1685-1750. Sonatas, violin, harpsichord, BWV 1019, G major. Allegro (3rd movement)

[演奏手段 (出典: Schmieder, 2. Aufl. : 1019, Sonata VI (G-Dur). 3, Allegro [for harpsichord solo])]

[C22] 0 \$aharpsichord = ハープシコード \$n1 \$s1 \$2lcmpt/tmmpt

### 別個に出版されたパート譜

アンサンブルの全パートではなく、1またはそれ以上の器楽または声楽のパートで構成する資源を記録する場合は、アンサンブル全体の演奏手段、資源に含まれる演奏手段のみ、またはその両方を記録するかどうかは、目録方針として決定する。

[ヴァイオリン独奏用パート譜]

Beethoven, Ludwig van, 1770-1827. Concertos, violin, orchestra, op. 61, D major

Violin-Konzert D-Dur Opus 61 / Ludwig van Beethoven ; herausgegeben von Igor Ozim, c1982

パート 1 (22 ページ) ; 31 cm

[292] 00 \$bviolin \$n1 \$2lcmpt

[292] 00 \$bviolin\$n1\$aorchestra\$e1\$r1\$t1\$2lcmpt

## 体現形の付属資料

付属または補遺資料の演奏手段が主資源と異なる場合、任意で識別情報を \$3 [Toccatà MARC: \$9] に記録する。

## LCSH および LCGFT との併用

LCGFT 用語が完全に実装され、現在 LCSH として使用されている標目から、ジャンルや演奏手段を一地理的地域、時代、および創作者、寄与者、および利用対象者の特性を表す用語と共に一遡及的に生成する方法を開発・展開するまでの暫定期間:

- ▶ LCMPT を 382 [Toccatà MARC/A: C22; Toccatà MARC/B: 292] に入力
- ▶ LCGFT を 655 [Toccatà MARC/A: C20; Toccatà MARC/B: 608] に入力
- ▶ LCSH 標目 (ジャンル/形式, 演奏手段, および混合標目) を 650 [Toccatà MARC/B: 606] に "Subject Headings Manual" に従って入力する。

[Toccatà MARC/B]

Clair-obscur : Strauss Berg Zemlinsky / Sandrine Piau, Orchestre Victor Hugo, Jean-François Verdier, © 2020

[292] 00\$bsoprano voice\$n1\$aorchestra\$e1\$2lcmpt

[464] 1\$12001 \$aWäldgesparach\$eballad for soprano, two horns, harp and violin\$fAlexander von Zemlinsky\$12A01 \$A 森での対話\$a ㄷㄷ ㄴ ㄸㄷ\$E ソプラノ, 2 つのホルン, ハープとヴァイオリンのためのバラード\$fアレクサンダー・フォン・ツェムリンスキー

\$150000\$3a02102050\$7ba\$aWaldgespräch\$rsoprano, orchestra\$7da\$a 森での対話\$R ソプラノ, 管弦楽\$7dc\$a ㄷㄷ ㄴ ㄸㄷ\$r ソプラノ, カンクカク\$17000

\$3a84033029\$7ba\$aZemlinsky\$bAlexander\$f1871-1942\$7da\$a ツェムリンスキー-\$B アレクサンダー-\$F1871-1942\$7dc\$a ツェムリンスキー-\$b アレクサンダー-\$f1871-1942\$400

.  
. .

[606] 1 \$3a83004521\$7ba\$aSongs (High voice) with orchestra\$7da\$a 歌曲 (高声) 管弦楽伴奏\$7dc\$a 가요 (고성) 칸가칸가 칸가

[608] \$3a01500520\$7ba\$aSongs\$7da\$a 歌曲\$7dc\$a 가요

[608] \$3a01500472\$7ba\$aArt music\$7da\$a 芸術音楽\$7dc\$a 게인'이 오가

[608] \$3a01701282\$7ba\$aSong texts\$7da\$a 歌詞\$7dc\$a 가

[608] \$3a01903642\$7ba\$aStudio recordings\$7da\$a スタジオ録音資料\$7dc\$a 스튜디오 녹음

[Toccatà MARC/B]

紫陽花 / 山本雅一 = Hydrangea / Yamamoto Masakazu, 2013

[292] 00\$violin\$n2\$viola\$n1\$cello\$n1\$s4\$2lcmpt

[606] 1 \$3a93006675\$7ba\$aString quartets\$vScores and parts\$7da\$a 弦楽四重奏曲\$V スコアおよびパ  
ート譜\$7dc\$a ゲンガク ショウリキョク\$v スコア 相比` パート

[608] \$3a01500530\$7ba\$aChamber music\$7da\$a 室内楽曲\$7dc\$a シツナイ カ` ッキョク

[608] \$3a01500831\$7ba\$aScores\$7da\$a スコア\$7dc\$a スコア

[608] \$3a01501099\$7ba\$aParts (Music)\$7da\$a パート譜 (音楽)\$7dc\$a パート (ワカク)

## LCMPT マニュアル・シート

オリジナルのマニュアル (PDF ファイル) の最新版は下記の URL で閲覧可能である。

<https://www.loc.gov/aba/publications/FreeLCMPT/freelcmpt.html>

マニュアル全体の構成は下記の表のようになっている。

### Library of Congress Medium of Performance Thesaurus for Music Manual

M 606	MARC Authority Records for LC Medium of Performance Terms
M 620	When to Establish a New Medium of Performance Ter
M 622	Changing a Term or Deleting a Medium of Performance Authority Record
M 625	Deleted Term Information
M 630	Changing References in Authority Records for Mediums of Performance
M 634	Preparation of Medium of Performance Term Proposals
M 638	Authority Research for Medium of Performance Proposals
M 641	Citation of Sources
M 650	Form of Authorized Medium of Performance Term
M 654	Parenthetical Qualifiers
M 656	Related Term References
M 657	"Used for" References
M 658	Broader Term References
M 660	Scope Notes
Appendix A	Abbreviations
Appendix B	Capitalization
Appendix C	Diacritics and Special Character
Appendix D	Punctuation

## 用語集の構成

用語集は典拠形用語で始まる“項目レコード”と異形から典拠形に案内する“use 参照”で構成されている。日本語の参照はラテン文字の読み<sup>1</sup>を付記したうえで、オリジナルの用語と共に配列した。

項目レコードの例
<p><b>harpichord</b> = ハープシコード</p> <p>UF: cembalo              clavecin              clavicembalo              spinet (harpichord)              クラヴィチェンバロ              クラヴサン              スピネット (ハープシコード)              チェンバロ</p> <p>BT: keyboard instrument = 鍵盤楽器              plucked string instrument = 摘奏弦楽器              zither = ツィター</p> <p>NT: arpicembalo = アルキチェンバロ              clavicytherium = クラヴィキテリウム              electronic harpichord = 電子ハープシコード              pedal harpichord = ペダル ハープシコード              sambuca lincea = サンブーカ リンセア</p> <p>DDC(20): 786.4            LCMPT Identifier: mp2013015333            Toccata MARC/A Identifier: a01400654</p>

use 参照の例
<p>cembalo              use <b>harpichord</b></p>

## “項目レコード” の内容

項目レコードは、先頭の典拠形用語（太字で表示）と、等号 (=) に続く日本語訳からなる「見出し語」で始まる。レコードは次の項目で構成され、典拠形用語以外は字下げしている。同じ項目が複数ある場合は最初の行のみ、先頭にラベル (UF:, BT:, 等) を表示している。

<sup>1</sup> Japanese : The ALA-LC Japanese Romanization Table. Revision Proposal, March 30, 2018 / Created by CTP/CJM Joint Working Group on the ALA-LC Japanese Romanization Table (JRTWG) [https://www.loc.gov/catdir/cpsd/romanization/romguide/Japanese-Romanization-Table-revised.pdf] を使用。

- ① 見出し語 - 典拠形用語と日本語優先形
- ② SN: スコープ・ノート
- ③ UF: Used For (UF) 参照: 複数の場合は最初にオリジナルの用語グループ, 続けて日本語の用語グループの順
- ④ BT: 広義語参照
- ⑤ RT: 関連語参照
- ⑥ NT: 狭義語参照
- ⑦ DDC(20): デューイ十進分類法 (20 版) の分類番号
- ⑧ LCMPT Identifier: LCMPT レコード識別子
- ⑨ Toccata MARC/A Identifier: Toccata MARC 典拠レコード識別子



